



# 陽風園だより

2011年9月  
第63号

発行 社会福祉法人陽風園 金沢市三口新町1丁目8番1号 ☎ (076) 263-7101



8月4日 納涼盆踊り大会  
(特養広場にて)

## 新理事長をお迎えして

専務理事 横山 外茂二

奥先生が理事長を退任され、四月から新たに古田理事長をお迎えしました。新たな陽風園の体制固めに毎日奮闘していただいています。今まで「陽風園だより」の巻頭言は全て奥先生が担当されていましたが、今後は役員の持ち回りで担当させて頂きます。格調の低下はお許し願います。

私は奥先生の指導の下に二年間専務理事兼事務局長の仕事を担当させて頂きました。この間九代安田理事長が作られた「私たちの信条」の解説や職員研修体制の充実、人事・給与制度の適正化、在宅事業の推進等に取り組んできました。また、本園の耐震化のための改築整備は、安田先生からの申し送り事項でもあり、奥先生が最も力点を置かれた懸案事項でしたが、今年度からその第一歩となる木曳野での施設整備が始まり、やがて軌道に乗ろうとしております。これらのことが実現できたのは全て職員の努力と協力のおかげであり、管理者会議の活性化を一番嬉しく感じています。

まだまだ課題が山積するなか新理事長をお迎えし、ますます陽風園が発展する可能性を感じています。地域の方々のお役に立つ法人であり続けるためには、時代の流れを先取りする戦略が必要であり、そのためには職員の叡知を結集しなければなりません。幸い古田新理事長は長年の私の良き先輩であり、想うところは同じだと感じています。先人から受け継いだ仁愛の精神の伝承者に甘んじることなく、新理事長の指導の下で、明日の陽風園を創っていきたく思います。

## 障害者の就労と現状

あけぼの作業所施設長

中 川 寿 一

身体障害者福祉法の制定以来、障害のある方々の就労は全てにわたって健常者に近づくことを求められ議論されてきました。しかしながら、軽い障害をもった一部の方しか一般就労ができておらず、圧倒的多数は福祉的就労として低い賃金のままで働いています。実際、障害のあるほとんどの方々は、「働く」という当たり前の暮らしからは遠ざけられているのが現状です。

障害のある方々にとって、「働く」ことは暮らしそのものであり大切な要素です。健常者と同じ働きを求めるのではなく、個性を尊重しながら、適切な支援によって一生懸命働くことができるという事例が数多く報告されています。

「障害者自立支援法」が平成十八年四月に施行されました。この法律では、身体・知的・精神障害のある方それぞれに対して、一元化された雇用と就労支援のサービスを提供することが定められています。

言うまでもなく障害者自立支援法によって就労支援が強化される以前から、障害のある方の一般雇用を促すための法律として、「障害者雇用促進法（障害者の雇用の促進等に関する法律）」があります。このなかで、官公庁や民間企業は一定割合の障害のある方を雇用しなければならぬとする「法定雇用率」が定められており、一般企業（五十六人以上規模の企業）では一・八％以上の障害のある方を雇用しなければならぬとされています。しかしながら実際にはほとんどの企業では、実雇用率はいまだ一・八％に届いていないのが現状です。

このような就労に結びつかなかった障害のある方が日常生活を営む場として、これまで作業所と呼ばれる授産施設などがその役目を担ってきました。ここでは、自主製品の製作や、企業の下請けとしての紙加工・袋詰めなどの作業、古紙やアルミ缶回収といったリサイクル作業などを行っています。そして、そこから得られた収入から経費を差し引いた残額が利用者に工賃（賃金）として割り当てられています。

厚生労働省の発表によれば、平

成二十一年の時点でこれらの事業所は全国に五七〇〇か所ほどあり、それらの施設で支払われる工賃の平均は月額約一万三〇〇〇円と、全体的に低い水準となっています。ただし、ここにあげられている事業所の数は、あくまで自治体からの補助金を受けている事業所のみならず、実際にこの数をはるかに超える事業所があるとされており、工賃の平均もさらに低い水準であると予想できます。障害のある方には障害基礎年金が支給されていますが、最も重い一級の支給月額八万二一七五円（平成二十三年四月現在）と合わせても十万円にも満たず、自立した生活を送るにはとうてい十分とはいえない状況にあります。

一方では、厚生労働省がさきに発表した報告によれば、特別支援学校卒業者の半数以上が福祉施設を利用するのに対し、福祉施設を出て就職する人は年間一％にすぎないとされています。結局、福祉施設の長期利用者が増え、利用者が今後膨れ上がっていくことで、本来施設を利用すべき人がその行き場を失うこととなります。そのため、福祉施設から一般就労への移行を図るため、自立支援法の

柱のひとつとして「就労移行支援事業」が創設されたという訳です。障害者自立支援法では、障害のある方々の「就労」の推進が重視されています。その内容は、働くことによる所得保障で一般就労をより拡大していくこととあわせて、例えば福祉的就労であっても、工賃倍増五か年計画に象徴されるように工賃の引き上げを図ろうとすることも含まれています。

今後、従来の授産施設等は政令で定める平成二十四年三月三十一日までに、自立支援法で規定する新たなサービス体系を選択して、移行することとなっています。福祉的就労から一般就労に移行する割合は、年間約一％にしかすぎないなかで、はたして自立支援法の施行により一般就労への移行がどれだけ増えるのか。また、障害者雇用率や就職件数にどれだけ影響するのかが目ざされているところです。自立支援法の下での就労支援は現在過渡期にあり、法施行の効果はどこまで実現されていくかは、近い将来明らかになるでしょうが、まだまだ、多くの問題が残されていると言わざるをえません。



園 だ よ り

万陽苑デイサービスセンター

日本財団助成の  
福祉車両キャラバン

平成二十三年三月、日本財団より助成を受け、新しい送迎車が納車されました。期待に胸をふくらませ運転席に乗り込んでみると、まず視界の広さに驚きました。従来の送迎車より、フロントウインドウがドライバーを包みこむようにレイアウトされており、またシートとの位置が高く設定されているためアイポイントも高く、遠方まで視界が確保されています。走り出すと、高い静粛性に加え、足回りが秀逸であり、道路の段差をソフトにいなしてくれています。またディーゼルエンジンながらターボがついているため、走り出しは軽やかであり上り坂も、エンジンが唸ることなくスムーズに走ることが可能です。またデイサービスにとっては待望の4WD車であり、業務の性質上雪の積もる狭路に入っていく必要もあるため、今年の冬は大変



心強く感じております。

機能面では従来の送迎車が座席三か所、車いす二台の計五名の乗車が可能であったのに対し、



この送迎車は座席五か所、車いす二台の計七名の乗車が可能となりました。また車いすの固定方法も自動で四角締めであったのに対し、自動で機械的につちりつと固定することができるようになり、高い安全性を得ることができました。また天井が高く背が高めのご利用者でも腰をかがめることなく、座席までの移動をしていただけることができるようになりました。

ご利用者の皆様からは「音が静かで迎えに来たのがわからなかった」「気持ちよくなって寝てしまっ」「乗り心地がよくなった」との言葉を頂きました。従来の送迎車が来たとわかるのがつかると言う方もいるくらいご好評を頂いております。これからもご利用者の皆様を安全、快適に送迎できるように、安全運転をこれまで以上に心がけ大事に乗っていききたいと思っております。

施設 だ よ り

第三万陽苑

開設記念祭

七月一日に開設記念祭が行われました。平成五年七月一日の開設以来十八回目となりま



す。当日はあいにくの雨にみまわれましたが利用者ご家族様、関係者の皆様の多くの方々にご来苑いただくことができました。

会場となった一階くつろぎホール（食堂）の舞台では、施設長の挨拶により開会され、司会者による本日のプログラム紹介、今年度の新規採用職員・異動職員のそれぞれの自己紹介のあと、恒例となっております余興が始まります。まず、葵流北陸支部照洲会の皆様による舞踊を披露して頂きました。とても艶やかな舞いで、一曲一曲が終わるたびに会場からは大きな拍手が沸き起こっていました。お昼となり、各テーブルからは一緒

に食事されるご家族と利用者の皆様からは、会話が弾む様子がうかがわれ、いつもとはちよつと違った料理やデザートを堪能される方々も笑顔がみられ、自然と職員の顔にも笑みが浮かんできます。午後からはフィ・フラ・オ・レイアロハ金沢スタジオの皆様によるハワイアンダンスが披露されました。ゆったりとしたハワイアンミュージックに乗せてカラフルな衣装で優雅に踊る皆さんに、見ている人たちもうつとりとしておいでました。最後は職員による余興です。新人職員により寸劇が行われましたが、見慣れた制服ではなく、学生服にランドセルという可愛い(?) 姿やセリフの言い回しに大いに笑っていたいただきました。

多くの皆様に支えられて十八年が過ぎました。今後も利用者の皆様が安全に安心して、心豊かに生活していただくための職員一同努力してまいります。



陽 風 園 日 誌

● 5 月

理事会・評議員会  
西条康夫バラエティーショー  
春の行楽・春の旅（各施設）  
内川たけのこ祭り  
（第三・地域福祉・あけぼの）  
菊川・十一屋・つつじが丘・大桑健康づくり教室  
内川出づくりサロン教室  
たけのこ祭り  
プロ野球観戦  
春のつつじ園散策ドライブ  
風船バレーボール大会（万陽）  
ハイキング（あけぼの）  
グラウンドゴルフ大会2011  
（ハビリ・あけぼの）  
新緑の湯  
親子バス遠足  
外出喫茶  
北陸三県救護施設スポーツ大会  
コンテナ菜園作り（木越デイ）  
ピカチュウ劇場（みずき）  
芋苗植え  
歯科健診  
保育参加（みずき）  
石川県障害者スポーツ大会  
家族会窓拭きボランティア  
（ハビリ・あけぼの）  
昼食バイキング（木越デイ）

● 6 月

（仮称）向陽苑木曳野建設  
工事安全祈願祭・起工式  
園祭式典・模擬店・理事長  
と職員との懇談会  
北陸学院中学校 花の日訪問  
歌のあすなる会ボランティア  
菖蒲湯  
菊川・十一屋・つつじが丘・大桑健康づくり教室（地域福祉）  
百万石喫茶  
日帰り旅行  
バラ園ドライブ（万陽・第二）  
お父さんと遊ぼう会（みずき）  
ランチ会と蓄音器館見学  
保育参観  
春の旅  
大浦校下体育祭・こども  
すくすくランド（みずき）  
クラフト作品作り（木越デイ）  
バラ園ドライブ（第二）  
カンタービレかすみ歌の  
ボランティア（第三）  
みんなで作ろう食べよう会  
衛生講座（向陽・三陽・あけぼの）  
プラネタリウム見学（みずき）  
ゲーム大会（第三デイ）  
運動会（向陽）  
昼食会（万陽）  
希望者旅行（ハビリ）  
小運動会（三陽）  
昼食バイキング（木越デイ）  
いきいき健康支援（第三デイ）  
森の保育園へ参加（みずき）

● 7 月

金沢市長夏季見舞  
前田明悦民謡会・円美会  
ボランティア（陽風園）  
孟蘭盆法要（陽風園・第二）  
開設記念祭（第二・第三）  
作って食べよう会（第三デイ）  
浅野川中学校「キャリア体験」  
消火器訓練、救急講座  
（向陽・三陽・あけぼの）  
七夕祭り  
（万陽デイ・木越デイ・みずき）  
昼食会（万陽）  
菊川・十一屋・つつじが丘・大桑・内川健康づくり教室  
七夕喫茶（地域福祉）  
癒しの香り湯（木越デイ）  
希望者旅行（ハビリ）  
歌のあすなる会 ボランティア（第二）  
夕涼み会  
どじょうすくい（みずき）  
納涼食事会（三陽）  
ぶどうの木ドライブ（木越デイ）  
泉中学校読み聞かせ（万陽デイ）  
納涼バーベキュー  
（三陽・あけぼの）  
海風浴（第二）  
夏祭り（万陽）  
習字ボランティア（木越デイ）  
夏休みチャレンジ教室（三陽）  
納涼祭（ハビリ）

入園者の変動状況（5月～7月）

施設名	入園者数 (8月1日現在)	入 所	退 所
向 陽 苑	236	5	6
万 陽 苑	181	31	34
第二万陽苑	149	26	26
第三万陽苑	145	17	22
三陽ホーム	99	1	2
ハビリポート若葉	200	1	1
あけぼの作業所	42	0	0
みずき保育園	168	1	0
合 計	1,220	82	91

在宅サービス利用状況（5月～7月）

施設名	事 業	延人数
万 陽 苑	シ ョ ー ト ス テ イ	445
	デ イ サ ー ビ ス	1,035
	ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス	361
第二万陽苑	配 食 サ ー ビ ス	314
	シ ョ ー ト ス テ イ	261
	ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス	650
第三万陽苑	シ ョ ー ト ス テ イ	880
	デ イ サ ー ビ ス	685
ハビリポート若葉	シ ョ ー ト ス テ イ	37
	日 中 一 時 支 援	8
在宅事業推進局	グループホーム知的障害者共同生活援助事業	1,380
	陽風園生活支援センター	856
	お年寄り地域福祉支援センターみつくしんまち	1,291
	予防プラン 介護相談	612
	木越デイサービスセンター	613
	木越生活支援センター	111

# 感謝録

5月～7月

(順不同・敬称略)

## ボランティア

- ひだまりグループ (金沢市)
- カトレアの会 (金沢市)
- 小西さんグループ (白山市)
- ひまはりの会 (金沢市)
- 新畑ミュージック企画 (金沢市)
- 歌のあすなる会 (金沢市)
- 石川県造園業協同組合 (金沢市)
- 葉月の会 (金沢市)
- 合歓の会 (金沢市)
- 葵流北陸支部照洲会 (金沢市)
- フイ・フラ・オ・レイアロハ金沢スタジオ (金沢市)
- 末日生徒イエス・キリスト教会 (金沢市)
- PL金沢南教会 (金沢市)
- 泉中学校 (金沢市)
- 北陸学院中学校 (金沢市)
- 小立野の会 (金沢市)
- 前田明悦民謡会 (金沢市)
- 円美会 (金沢市)

## 寄附物品の部

- 西条 康夫 (金沢市) 中本 章子 (金沢市)
- 中村 俊子 (金沢市) 安岡 龍男 (金沢市)
- 石立美智子 (河北郡) 尾崎 和雄 (金沢市)
- 勝尾外美子 (金沢市) 村尾 和子 (金沢市)
- 高窪千寿子 (金沢市)

### 押野校下婦人会

(金沢市)

### 堀 とみ (金沢市)

古田とみ子 (金沢市)

### 亀田 泉 (加賀市)

## 寄附金の部

- 富樫まちぐるみ協議会 (金沢市)
- 金沢市崎浦地区町会連合会 (金沢市)
- 小酒 平次 (羽咋郡) 岡山 政春 (羽咋郡)
- 山田 茂治 (石川郡) 寺沢 宏 (金沢市)
- 石田 豊 (金沢市) 平野 吉晴 (金沢市)
- 伊藤 直樹 (金沢市) 助供いち子 (輪島市)

- 庄田 邦彦 (能美市) 吉田 耕作 (金沢市)
- 浅田 (金沢市)

その他匿名 六十九名

ご厚意ありがとうございました。

## (仮称) 向陽苑木曳野

### 起工式 安全祈願祭

六月十四日(火)

金沢市桂町の工事  
予定地にて起工式  
と安全祈願祭が執  
り行われました。

「利用者の安全・

安心・快適と職員  
の働きやすさ」を

テーマに中規模生  
活単位構想を実現

し、式では古田理事長の「新たな第一歩

を踏み出す来年度は、園祖小野太三郎翁  
が亡くなられて百年の節目の年に当たる。  
施設建設が三口新町本園の改築整備の第  
一步であり、心を新たに、誠心誠意  
努めたい」と式辞がありました。

